

特別養護老人ホームの薬局利用制限について問う



墨田オンブズマン
大瀬 康介

問 区が旧立花小学校跡地の一部を定期借地権で貸付け建設された特別養護老人ホーム東京清風園では、同施設の提携薬局以外は投薬ミスの防止を理由に取引を制限しているとの実態が見えてきた。「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」の趣旨である私的独占、不当な取引制限及び不正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度な集中を防止しようとする観点から、当該施設の行為について区長の認識を問う。

答 当該法律の趣旨に抵触するかにについては、公正取引委員会が判断することなので認識は答えられない。特養ホームが提携薬局だけを優遇し、入所者の薬局選定等を故意に制限する事実が確認された場合には、当該ホームの検査指導を所管する都に対し、確認等を行うこともあるが、施設長に確認したところ、入所者の薬局利用制限はしていないとの回答を受けている。区民から指摘等があれば事実関係を確認し都と連携して対応していく。

問 区民健康診査の外部委託先に受診者の健康情報等が流れることについて区民にきちんと説明し、コンセンサスが得られているのか。

答 案内通知書と受診票に説明等を記載しており、コンセンサスを得ていると考えるが、表記を分かりやすくする工夫を検討する。

問 団塊ジュニア世代は雇用形態の変化でスキルアップの研修を受けられなかった人が多い。区が研修を行い活躍の場を与えるべき。

答 従来の就職支援に加え、従業員の年齢層や役職等に応じた各種セミナー等の個々のスキルを磨けるような支援を行っていく。

子育て施設への監督指導体制をどう強化していくのか



新しいすみだ
井上 ノエミ

問 ①保育園の新設や指定管理者への移管に伴い、これらの施設をきちんと監督指導していく必要がある。今後、この体制をどのように強化していくのか伺う。②区長がよりリーダーシップを発揮するために、1年に1回は保育園長を集めて意見交換を行う機会をつくり、現場の声を聞くようにしてはどうか。③認可外保育施設に対し、区としてもっと積極的に関与していく必要があると考えるがどうか。

答 ①保育所の園長経験を有する職員の配置や職員研修を実施しているほか、都の実地検査への立会いや合同での検査を実施し、ノウハウの蓄積に努めている。②園長が集まる研修会や直接園を視察した際など、機会を捉えて現場の声を聞いている。今後、そのような機会を増やしてリーダーシップを発揮していく。③認可外保育施設に対して区は直接検査を行うことができないため、都が実施する立入調査に立ち会い、調査結果を共有し、指導への協力を行っている。今後も都と連携を図り、認可外保育施設への指導検査に協力していく。

問 英語教育を推進するため、あわの自然学園を利用した英語キャンプの実施を検討してほしい。

答 教育課程上の取扱いや費用負担、宿泊時の生活指導等、様々な課題があるため、今後研究していく。

問 東京2020オリンピック・パラリンピックの英語ボランティアを養成するため、英語講座等のプログラムをもっと開催してはどうか。

答 昨年度から都と共催で実施している語学ボランティア養成講座を継続して実施するなどして、更なるボランティアの養成につなげていく。

すみだ北斎美術館の今後の運営について問う



都民ファーストの会
渋谷 ちしゅう

問 ①すみだ北斎美術館の情報を新聞等の博物館・美術館情報に掲載してもらうには、文化財保護法第53条の公開承認施設に関する規定第3条の基準をクリアしなければならない。まず、区はこれをクリアする気があるのか伺う。また、これをクリアするに当たり、北斎作品を所蔵する全国の美術館等で連携し、互いに作品を貸し合うネットワークを構築してはどうか。②北斎作品の外国への流出を防ぐため、小布施北斎館のある小布施町と協力して作品の購入・所蔵を進めてはどうか。

答 ①指定管理業務要求水準書等に「『公開承認施設』の承認が得られるような管理運営に努めること」と明記していることから、承認を得られるよう指定管理者に求めていく。また、今後、重要文化財も借りられるように、多くの美術館とのネットワークの構築を図っていく。②作品購入について情報を共有し、収集に努めていく。

問 ①「東京23区の大学の定員増を原則10年間認めない」という法案には、オール23区で反対すべき。区長会でも議題にすべきと考えるがどうか。②大学誘致に際し、学生の下宿やアルバイト、就職に関する相談窓口等を、区としてもできる限り準備しておく必要があると考えるがどうか。

答 ①法案は「大学のあるまちづくり」を進める本区にとって容認できるものではないため、先日、都知事との意見交換会でこの件について申し述べ、その翌日には区長会として改めて反対する声明を発表した。②各大学は豊富なノウハウを持っており、相談窓口を設けるなど適切に対応されると思うが、大学側の希望を確認しながら可能な範囲で対応していきたい。

鐘ヶ淵の踏切解消・鉄道立体化の早期実現に向けて



日本共産党
としま 剛

問 鐘ヶ淵の鉄道立体化の早期実現に向け、「地域が一体となったまちづくり」を都に示すため、区としての鉄道路線の形を検討し、地域と協議を重ねてきた。今回、鉄道法の規制緩和に伴い、区は新たにこの線形を示すと約束して今日に至っている。線形案の作成は鉄道事業者へ依頼しているが、いつまでに完成するのか。また、区としての線形を検討するに当たり、鉄道事業者用地等を最大限活用し、民地への影響を最小限に抑えるよう検討するとしていたが、そのような仕様での作成依頼となっているのか。

答 法令遵守及び運行の安全性確保とともに、鉄道用地を最大限活用し民地への影響を極力抑えるよう伝えている。平成29年度末までに区の線形案を取りまとめ、平成30年度早期に地域の皆さんに提示する予定である。

問 民泊新法は環境悪化を防ぐ目的であれば条例で制限することを認めているが、23区で条例を制定しない区は本区を含めわずか4区である。区は自治体としての役割を果たすため、これに積極的に取り組むべき。

答 旅館業に対する監視・指導の経験をフルに生かして、組織を充実するとともに、適切な予算で対応し、自治体の役割を果たしていく。

問 錦糸町駅地下自転車駐車場の管理は、シルバー人材センターに戻すべき。直接雇用を実施するとしても、あくまでも希望者のみとすべき。

答 錦糸町周辺では放置自転車対策の効果がでてきているので、民間委託による総合管理方式を継続していく。なお、事業者からは、直接雇用を進めるに当たっては会員の希望を尊重すると聞いている。

家庭的保育者(保育ママ)制度への支援を



公明党
とも 宣子

問 ①自園調理への移行について、経過措置期間の延長や外部からの食事の搬入を認めるべき。②家庭的保育者を確保するため、ホームページで相談窓口を案内してはどうか。③家庭的保育者の協力体制の構築やグループ保育への移行など、土曜保育を増やすための区の支援について伺う。

答 ①まずは平成32年度までの自園調理化に向けて、引き続き支援を行う。②制度や財政的支援等の内容について、広くホームページ等で周知していく。③本区の実情に合わせた方策を連絡会等で検討している。

問 ①ひとつでも多くの子ども食堂が運営できるよう、区の具体的な支援を検討していただきたい。②公的支援の利用対象者への積極的な情報提供を行うべき。③子どもの居場所づくりへの新規参入希望者の相談窓口をつくるべき。

答 ①民間団体の支援を子ども食堂の運営者につなぐための方策等を検討し、社会福祉協議会とも連携し、支援を進めていく。②サービス全般を各窓口で案内できるよう情報の共有化を図り、利用につなげる。③所管の部署が他の担当との連携を密にしながら、個別具体的に対応していく。

問 3歳児健診での視力検査を適切に実施するため、更なる取組を求める。

答 早期発見・早期治療の重要性について注意喚起を徹底し、引き続き積極的な受診勧奨をしていく。

問 認知症徘徊高齢者をまち全体で見守るようなネットワークの構築について、区長の所見を伺う。

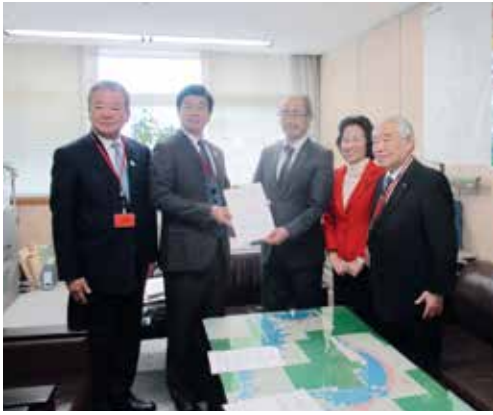
答 すみだの地域資源を生かした仕組みづくりに向けて検討する。

議員連盟の活動

〔12月20日、1月29日〕

鉄道立体化促進議員連盟

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近) 連続立体交差事業及び周辺まちづくりの推進について、関係機関に対し要望活動を行った。



〔2月23日、3月15日〕

2020年東京オリンピック・パラリンピック推進議員連盟

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会マラソン競技コースの本区への招致について、関係機関に対し要望活動を行った。



予算特別委員会のもよう

賛成 自由民主党

■更なる行財政改革の推進による歳出抑制に努め、強固な財政基盤の構築に取り組むことを求める。

■本予算案には、具体的な内容が固まっていない事業が散見された。予算案は1年間の区民への約束であり、この点に大きな懸念を抱く。今後、予算編成において留意を。

■荒川緑地フィールドハウスの管理運営費及び修繕費は、極めて民間感覚から掛け離れた予算と言わざるを得ない。第3回定例会までに施設の今後の方向性について報告を求める。

■東京2020オリンピック・パラリンピックに関し、マラソンコースの誘致や聖火リレーについて都と連携強化に努めるとともに、この好機を今後の教育やまちづくりに十分に活用することを望む。

賛成 公明党

■本予算案は東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備や公共施設の長寿命化等、未来の礎となる予算と認識している。ただ財政的な課題もあり、提案した財政白書・前期財政計画を策定するとの答弁は評価する。

■新規及び拡充事業の一部に懸念される点があったが、審議の中で建設的な議論ができた。

■昨年の決算特別委員会で指摘したことが改善され、連動性が確保されている。以上の点から予算案には賛成する。

■本審議中に大学誘致における土地賃貸借契約を議会報告前に契約締結するとの話があった。今後、区政の重大案件に係る契約等について議会報告を怠ることがないよう、真摯な行政運営を強く求める。

反対 日本共産党

■国民健康保険料、介護保険料及び後期高齢者医療保険料をそろって値上げすることは重大である。区民に寄り添い、暮らしを守ろうという姿勢が見られない。

■暮らしを応援する施策として、高校生・大学生への入学準備金の給付、区独自の給付型奨学金の創設、就学援助の所得制限の緩和、入学準備金の増額、こども食堂等への支援・食料提供を要求する。

■区が住宅セーフティネットの構築として掲げてきた住宅困窮者に対する支援策はほとんど実績が上っていない。住宅は人権・福祉と位置付け、公的住宅の提供や家賃助成の実現に踏み出すべき。

■シルバー人材センターの仕事確保と安定的な運営のため、錦糸町駅駐輪場の民間委託は撤回すべき。

一部賛成 一部反対 すみだの絆

■南部地域の元気高齢者施策、町会支援策、障害者施策等に関して十分な配慮がない。特に南部の元気高齢者施策は大きく後退している。なぜ区の南北で施策展開に差異が生ずるのか理解できない。

■地域力日本一を実現するために、まず町会の支援が最重要課題だと考えるが、本予算案にある町会の現状調査は区長就任当時すべき施策である。より即効性、実効性の高い施策展開を求める。

■今回、一般会計予算案に反対するが、逆に奮起し、地域力日本一の墨田区を実現してほしい。

この地域連合「すみだの絆」の意見は、会派内で意見の一致を見ることができなかったため、予算特別委員会委員としての意見となっています。

賛成 民進党

■感震ブレイカーの更なる普及啓発等を通じて、地域力、防災力の強化を推し進めてほしい。

■総合的ながん対策事業の拡充、障害者差別解消法の更なる普及啓発を求める。

■国際教育の普及とともに、教員の働き方改革を推し進め、教員がより児童・生徒に向き合える環境整備を要望する。

■子育て世帯の区外転出抑制及び転入促進に向けて、住み替えニーズを把握し、着実に実績として残せる施策展開を求める。

■問題提起をした荒川緑地フィールドハウスの件に関連して、区長の言う民間感覚、コスト意識が、本当の意味で職員に浸透しているのか問い直し、更なる行財政改革を推進してほしい。

一部賛成 一部反対 墨田オンブズマン

■北斎美術館建設という目的を達した以上、ふるさと納税の使途は公共の福祉のため幅広くすべき。

■本区には実態的な同和による差別は存在しない以上、同和と名の付く予算は不要である。

■物品の購入契約等を特定業者に集中させず幅広く発注し、自営業者を育成することで地域と活力を支えてもらう政策誘導を提案する。

賛成 都民ファーストの会

■地域力日本一を目指す区として、将来を見通したすみだらしい安定的な自治会・町会施策を求める。

■すみだ北斎美術館の安定的な運営のため、公開承認施設の承認に向けて、区としてもしっかりと取り組んでいかなければならない。

■予算の向こうに区民の姿があることを頭に入れ、区民に褒められるような予算執行を強く望む。



予算特別委員会のようす

主な質疑

大学誘致について

問 大学誘致について、地域の人たちは先行きが見えず不安を感じている。特に大学誘致用地の暫定利用部分に関しては、年限を定めて交渉を行い、一定の結論を不すようにしてほしい。

答 大学誘致についてうまく情報や考え方が伝わっていないことは大いに反省しなければならぬ。地域としてしっかりコミュニケーションを取り、大学が来て良かったと思ってもらえるよう対応していきたい。

町会・自治会への加入促進のための啓発について

問 町会・自治会への加入促進のための漫画による啓発冊子作成は、町会・自治会未加入者へのアンケート等の実態調査をした上で、必要な掲載事項を検討してから作成すべき。

答 現在の加入促進のリーフレットにどのような工夫をすれば分かりやすく伝わるのか、この春の転入転出の状況を確認し、実態調査の結果を踏まえて考えていきたい。

こども食堂に対する支援を

問 区内にはこども食堂が数か所あるが、それに対して区は直接的な支援を行っていない。今回の予算で新たに打ち出した学習支援の拡充だけでなく、こども食堂に対し、食料提供などの支援を事業として行うべき。

答 地域の皆様が子どもたちを支えるため活動してくれていることはとてもありがたいことだと考えている。区としてはフードバンク事業者とこども食堂等が連携できるように相談に応じていきたいと考えている。

錦糸町のイメージアップを

問 客引き行為等防止条例が施行されてから錦糸町の状況は改善の兆しが見られるが、これからは錦糸町のイメージ向上のため、区は危機管理担当だけでなく、一丸となって対策を講じていくべき。

答 いわゆる縦割りではなく、チーム一丸となって知恵を絞っていくことは重要だと考える。その上で、地域の皆様とのネットワークを更に強め、対策を講じていきたい。

荒川緑地フィールドハウスの見直しを行うべき

問 荒川緑地フィールドハウスは利用実績が少なく、施設としての役割を果たしていない。修繕を行う前にこの施設について見直しを行うべき。

答 この施設を今後どうするか決めることから修繕すべきという指摘はもともとである。議論を重ね、30年度中に議会へ報告する。

産業観光プラザ すみだ まち処の活性化を

問 産業観光プラザ すみだ まち処の客足が低迷してきている。この施設は是非とも有効活用すべきだが、活性化させるための計画等は。

答 スカイツリーの観光客の足をすみだ まち処へ向けるために、スカイツリー社と協議を行っている。今後も更なる誘客に努める。

すみだ郷土文化資料館の20周年事業について

問 すみだ郷土文化資料館の20周年事業について、まずは宣伝をきちんと行い集客に努め、子どもたちが見て触れるような展示をしてほしい。

答 子どもたちにも分かりやすい展示を行い、宣伝についてはシテイプロモーション担当と調整し効果的な方法を工夫していく。



平成30年第1回定例会 議決議案等の審議結果					○賛成	×反対	△継続	※きすなは、賛否両方あり ※第1回定例会における会派名等を記載			
件 名			会派名等 () 内は会派所属議員数							議決 結果	
			自民党	公明党	共産党	きすな*	民進党	墨田才	新すみ		都ファ
			(12)	(7)	(5)	(2)	(2)	(1)	(1)		(1)
区 長 提 出 議 案	予 算	平成29年度墨田区一般会計補正予算	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
		平成30年度墨田区一般会計予算	○	○	×	○ × ⁽¹⁾ ₍₁₎	○	×	○	○	可決
		平成30年度墨田区国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
		平成30年度墨田区介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		平成30年度墨田区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	条 例	墨田区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区総合運動場条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区子育てひろば条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区中高層階住居専用地区建築条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区シルバーピア条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区高齢者個室借上げ住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区私道整備助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区児童デイサービス施設の管理運営等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		墨田区指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の給与に関する条例及び幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		すみだ障害者就労支援総合センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
		旅館業法施行条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	契 約	(仮称) 墨田区総合運動場新築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		(仮称) 墨田区総合運動場新築に伴う電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		(仮称) 墨田区総合運動場新築に伴う機械設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(仮称) 錦糸町駅南口機械式地下自転車駐車場整備工事請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
小梅橋撤去その他工事請負契約の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人事	墨田区監査委員選任の同意について	○	○	○	○	○	×	○	○	同意	
そ の 他	特別区道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別区道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別区道路線の廃止について（議案第31号）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別区道路線の廃止について（議案第32号）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特別区道路線の廃止について（議案第33号）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
出 議 員 提 案	意見書	障害者の活動に対する支援制度の充実に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	東京都シルバーパス制度の改善に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請 願 ・ 陳 情	陳 情	宗教法人宝徳院による墨田区東向島四丁目20番8号における納骨堂事業の許可申請に関する陳情	○	○	○	○	○	○	△	採択	
		国民健康保険料をこれ以上値上げせず財源確保のために全力を尽くすことに関する陳情	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
		生活保護基準の最大5%引下げの「見直し案」撤回を求める意見書の提出に関する陳情	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択

【次の会議日程(予定)】			
	会 議 名	開会時間	傍聴席
5月 17日 (木曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	17階
5月 24日 (木曜日)			
5月 25日 (金曜日)	本会議(第1回臨時会)	午後1時	19階
6月 5日 (火曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	17階
6月 11日 (月曜日)			
6月 12日 (火曜日)	本会議(第2回定例会初日)	午後1時	19階
6月 13日 (水曜日)	本会議		
6月 14日 (木曜日)			
6月 20日 (水曜日)	地域子ども文教委員会		17階
6月 21日 (木曜日)	区民福祉委員会		
6月 22日 (金曜日)	産業都市委員会		
6月 25日 (月曜日)	企画総務委員会		
6月 28日 (木曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	19階
6月 29日 (金曜日)	本会議(第2回定例会最終日)	午後1時	

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

会 派 等 の 所 属 議 員 (第1回定例会)		
略 称	会 派 名 等	所属議員名(五十音順)
自民党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、木内 清、坂井ユカコ、坂下 修、佐藤 篤、しもむら緑、瀧澤良仁、田中邦友、中沢えみり、樋口敏郎、福田はるみ
公明党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、高橋正利、千野美智子、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、村本ひろや
きすな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲、西村孝幸
民進党	墨田区議会民進党	あべきみこ、堀よしあき
墨田オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
都ファ	都民ファーストの会墨田区議団	渋田ちしゅう

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。